

◆◆◆ 2012年度(平成24年度) 活動のご報告 ◆◆◆

セブン-イレブン記念財団は、1993年セブン-イレブンみどりの基金として設立され、2010年に一般財団法人に移行しました。本年度で3年目を迎え、環境をテーマにした社会貢献活動を視覚的に理解していただけるよう、当財団が目指している日本の美しい自然を象徴するロゴマークにデザインを一新し、新たなスタートを切りました。

2012年度は、お客様から寄せられた4億8844万7168円の店頭募金と(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金などをもとに、地球温暖化防止事業、地域活動支援事業、自然環境保護・保全事業、広報事業、災害復興支援事業に取り組みました。

低炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入や省エネ対策をはじめとする地球温暖化対策が急務となっています。当財団は、新たに事業の柱に地球温暖化防止事業を据え、「セブン-イレブンの森づくり」などによるCO₂削減活動と地球温暖化対策助成による市民活動支援の両面から温暖化防止活動に取り組んでいます。

環境市民団体に対する資金面の支援として、複数年の継続助成を含め「公募助成」では139団体に1億2620万円を、「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」では33団体に547万円を助成しました。本年15回目を迎えた環境ボランティアリーダー海外研修は、派遣人数を7名に増やし環境先進国ドイツで直接現地の環境NPOから組織運営や活動技術を学んでいただきました。

広報事業として、公募助成の助成先決定団体のお知らせポスターを地域毎にセブン-イレブンの店内に掲示しました。これは、公募助成の理解促進を図るとともに、お客様に地域で活動する団体の名前や活動を知っていただき、環境ボランティア活動への理解を深め、参加の糸口となることを期待した団体支援活動でもあります。

「東日本大震災復興プロジェクト」は、セブン-イレブン加盟店や本部社員のボランティアが地域の皆様と一緒に復興支援活動を行う取り組みです。今年、新たに被災地の小学校の植花活動を支援する「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」を立ち上げて、宮城県と福島県の119校に花苗や樹木を贈る活動をスタートさせました。この活動は地域を広げ今後も続けて行きます。

セブン-イレブン記念財団は、これからもお客様、環境市民団体、セブン-イレブン加盟店、(株)セブン-イレブン・ジャパンと力を合わせ、より一層活動内容の充実を図り地域に根ざした社会貢献活動を展開していきます。

皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。